

1 はじめに

南宇和支部では、各校の視聴覚・情報教育主任を中心に視聴覚・情報教育委員会を構成し、「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践」を主題に研修を実施した。今年度、支部内全ての小・中学校に1人1台タブレット端末が整備された。同時に、タブレット学習ソフトウェアも導入され、これらの効果的な活用について実践研究を進めている。

2 教職員研修について

(1) 郡視聴覚・情報教育委員会

ア 日時：令和3年4月26日(月)13:30~16:00

イ 形式：Meetによるオンライン会議

ウ 内容

(ア) 役員の選出 (イ) 本年度の研究主題の検討・決定 (ウ) 研究計画の策定

(2) 郡視聴覚・情報教育委員会実技研修会

南宇和支部では、この4月から全ての児童・生徒、教職員に、1人1台タブレット端末(ChromeOS)が導入された。児童にとっても多くの教職員にとってもこれまでに馴染みのないOSということもあり、全てが一からのスタートである。

そこで、「Google Classroom」と「ミライシード」を活用した授業の進め方や、具体的な実践について理解を深めることができるよう、研修を行った。

○ 実技研修

「1人1台タブレット端末の活用と授業改善」

ア 日時：令和3年11月30日(火)15:00~16:30

イ 形式：Meetによるオンライン研修会

ウ 講師：田口晋氏(イーディーエル株式会社 GoogleWorkspacePD トレーナー

Google 認定教育者レベル1 Google 認定教育者レベル2)

エ 内容

(ア) Googleのアプリケーションについて

(イ) 授業及び校務での活用について

(ウ) Q&A

(エ) 参加者の感想(一部)

■授業や校務で活用できる具体例をたくさん紹介していただき、ありがとうございました。■リモート研修でありながら、実技もできて有意義でした。

■クラウドやクラスルームについての基本的な内容を再確認できたよかったです。

■分からないことがたくさんありますが、まずは教えていただいたことを活用してみようと思います。ありがとうございました。



【Meetによるオンライン研修会の様子】

3 成果と課題

実技研修を実施することにより、クラウドの基本的な概念や1人1台タブレット端末を活用した授業の在り方について、理解を深めることができた。参加者の感想にもあるように、今後、研修での学びを実際に活用していくことが大切である。各校でより多くの実践を重ね、そこから明らかになった課題を持ち寄り、確実に課題を解決していけるよう、研究を進めたい。